

コロンブス

MONTHLY COLUMBUS

ビジネスの新大陸を発見!!

7

2016
JULY
700円

オートキャンパー
800万人の交流効果を検証

シニアオートキャンパー の ススメ



【元気のてる地域連携塾】
観光活性化ファンドとココプラが牽引する
高知県独自の振興戦略

【特選銘柄】
訪日観光の受け皿としての
オートキャンピングツーリズムを提唱

明瀬裕一 株式会社法人日本オートキャンピング協会 会長

【大地の顔】
夏の風物詩「ラムネ」をつくり続ける
中小飲料メーカーのあらたな挑戦

寺田 龍・東京飲料㈱ 代表取締役

【特別編集顧問・浅野純次の
グローバル人間図鑑】

荒廃農地の活用支援から
観光誘客まで
日本の農村を元気に
するための取り組み

圓山満久

農林水産省 農村振興局 地域振興課長

宮崎敏行

農林水産省 農村振興局 地域整備課長



近・畿 — 奈良県

三晃精機(株)

現場のニーズに即したモノづくりと「産研学連携」で日本の農業を元気に

女性や高齢者でも楽に荷物が運べる電動運搬車「らくらく号」が、話題を集めている。「通常の電動運搬車では傾斜角

は1960年。笹岡社長の父が歯車工場に勤務した経験を生かして旋盤加工・工作機械製造業をはじめたが、約10年

10度くらいまでしか対応できないが、らくらく号は25度の坂も登れる」スグレモノで、とくに中山間地の果樹農園などでの活躍が期待されている。研究開発を手掛けたのは三晃精機(株)。「産研学連携」によるモノづくりで地域農業の活性化に貢献する元気企業だ。



親指ひとつで駆動できる電動運搬車「らくらく号」ももちろん、バッテリーには小型で高性能な「バッテリーカ」を活用

後にはオイルショックに起因する不景気で途端に仕事がなくなくなり、存続の危機に瀕してしまつたという。当時、後継ぎとして入社していた笹岡社長は、付き合ひのある業者から「農業用機械のニーズが高まっている」との情報を得て、さっそく刈払機用刃研磨具「サンングライ

笹岡元信社長によれば、同社の出発点

物を扱えるよう工夫を凝らしたところ、またたく間に100万台を超える

太鼓判押します!!

公益財団法人 奈良県地域産業振興センター 事業化推進課 浅井保典さん

豊富なネットワークとアイデアを持つ代表者が、ニッチではあるがシッカリとニーズを捉え、モノづくりに取り組む姿勢から多数のヒット商品を生み出しています。また、産研学連携による課題解決力も同社の強みです。

大ヒットに。科学技術庁長官賞も受賞し、全国から注文が殺到したことで、経営を立て直すことができた」と振り返る。 笹岡社長はこのヒットを機に、設備増強や販路の開拓などに取り組んだ。「サンングラインダー」は

社長の自社採点	
企画開発力	☆☆☆☆☆
営業力	☆☆☆☆☆
成長力	☆☆☆☆☆
収益力	☆☆☆☆☆
地域貢献力	☆☆☆☆☆
人材力	☆☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆☆☆☆
計画性	☆☆☆☆☆
リスクマネジメント	☆☆☆☆☆

■会社概要
所在地・奈良県大和高田市東三倉堂町7-13
☎0745-5210025
設立1960年/従業員10名
http://www.sanko-seiki.co.jp/index.htm



「産研学連携によって技術の幅が広がるし、社会的な観点からの詳細な調査などを行うことで、より現場のニーズに即した研究開発ができる」と笹岡社長

70年代末の農業界のニーズをうまく捉えることで売れたが、時代が変わればニーズも変わる。そこで、工場は従業員たちに任せて、私自身は全国を行脚し各地の農業現場の声を聞いて回った「そうだ。この全国行脚は足掛け10年ほども続き、その間、笹岡社長は現場のニーズに即した製品を農業界に送り出していった。その筆頭がトラクター用の小型予備バッテリー「バッテリーカ」だ。「通常のバッ

り続けているほしいものだ。現場の切実なニーズに応える製品をつくり



この3月には東京大学の安田講堂で「らくらく号」の成果発表を行った。今後、科学技術振興機構による東京大学柏キャンパスでの実装テスト公開も予定されているという

社長のひとこと

QRコード対応のケータイで電話で聞いただけです。